

# 旧第1清掃センター解体及びストックヤード等整備工事について

## 1. 工事概要

- ・工事名 旧第1清掃センター解体及びストックヤード等整備工事
- ・工事場所 越前市北府一丁目 地係
- ・竣工予定 令和6年3月18日
- ・発注者 南越清掃組合
- ・施工者 吉勝重建・高野組・野崎工務店特定建設工事共同企業体  
代表者企業 株式会社吉勝重建
- ・施工曜日 月曜日～土曜日 午前8時～午後5時

### 《内容》

旧第1清掃センター焼却施設の地下部分を除く、地上部の建物と内部の機械設備を解体撤去します。解体工事完了後、その跡地に、金属類・電気製品等の常設回収拠点としてストックヤードを整備します。工事にあたっては、周辺環境に配慮して万全の対策を講じ、地下水モニタリングを含む環境モニタリングを実施します。

項目	ごみ焼却施設解体工事	ストックヤード整備工事
工事期間	令和4～5年度	令和5年度
施設能力・規模	150t/日(75t/24h×2炉)	200m <sup>2</sup>
構造	RC造一部鉄骨造	RC腰壁+鉄骨造屋根
その他	杭・基礎部分(地下工作物)残置	保管対象物:金属類、電気製品等

## 2. 工事スケジュール

	項目	R4年度	R5年度
解体工事	届出・共通仮設	R4年11月頃 着手予定	
	仮設工事(足場・養生等)		
	除染工事		
	設備解体工事		
	建物解体工事	ランプウェイ部 先行解体	
	整地工事、付帯工事		
ストックヤード	ストックヤード整備工事		R6年3月 完了予定
環境対策	環境モニタリング (騒音・振動、ダイオキシン類等)		
	地下水モニタリング		

仮囲いや足場など仮設工事の後、付着物を洗浄する除染工事を行い、設備、建物の順で解体します。解体完了後、整地・付帯工事とストックヤード整備工事を行います。

## 3. 周辺環境対策

### (1) 工事について

- ・工事作業中は、騒音振動の法規制値を遵守
- ・工事車両が出入りする際には交通誘導員を配置し、工事車両出入口の安全を確保

### (2) ダイオキシン類・石綿等汚染物質の飛散防止対策

- ・解体作業管理区域の密閉養生の実施
- ・管理区域内を負圧状態にし、外部への汚染物質を含む粉じん等の飛散防止
- ・前室の設置により、重機等の出入りによる汚染物の外部への飛散防止
- ・石綿除去については、隔離養生による飛散防止

### (3) 汚染水の流出防止対策

汚染水は、仮設排水処理設備での浄化処理による循環再利用

### (4) 粉じん飛散防止対策

- ・コンクリート等解体時の粉じん飛散を散水により抑制
- ・作業区間を防音シート等での囲い込み養生による粉じんの飛散防止

## 4. 環境モニタリング

### (1) 地下水モニタリング

工事着手前から工事完了後、敷地内に地下水観測井戸を設置しpHや電気伝導度(水への電気の通りやすさで汚染度を知る指標)を連続測定するとともに、定期的に採水し有害物質の濃度を分析。観測井戸は、地下水の上流側、下流側にて4箇所設置。

### (2) 粉じんの連続測定

管理区域内の空気を排気・浄化する集じん換気装置の排気口をデジタル粉じん計により連続測定

### (3) 騒音・振動連続測定

工事現場入口付近に騒音・振動計を設置し連続測定結果を表示

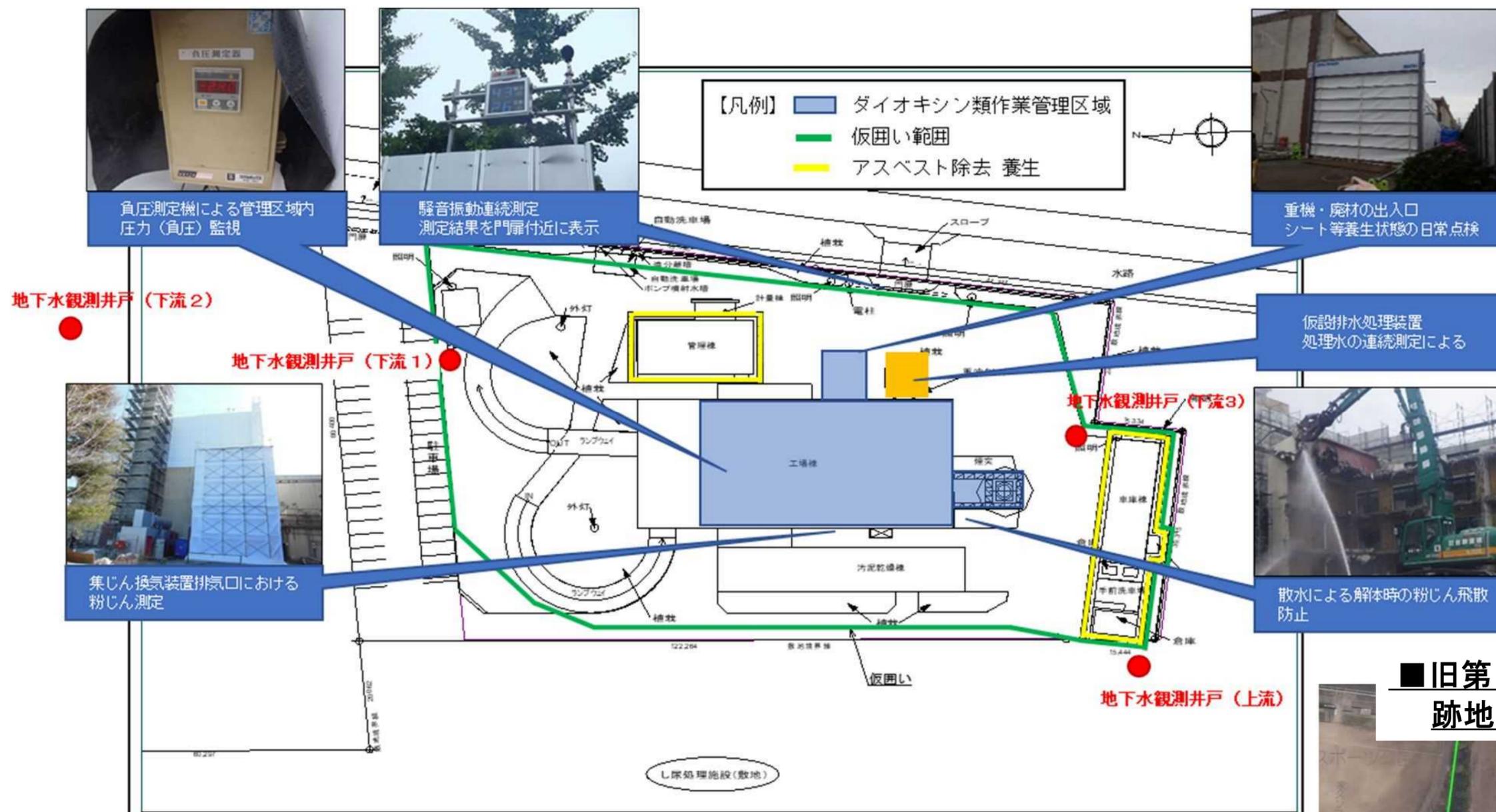
### (4) 大気中ダイオキシン類測定

工事前後で敷地境界における大気中のダイオキシン類を測定し周辺環境への影響を調査

### (5) 土壌中ダイオキシン類測定

工事前後で敷地内の土壌に含まれるダイオキシン類を測定し周辺環境への影響を調査

## ■旧第1清掃センター環境モニタリング概要図



## ■旧第1清掃センター跡地利用計画図



## ■工事情報ホームページ (QRコード)



## ■お問い合わせ先

**【発注者】** 南越清掃組合 総務課  
 TEL 0778-47-2553  
 E-mail nsk\_kanri@city.echizen.lg.jp

**【施工者】** 吉勝重建・高野組・野崎工務店特定建設工事共同企業体  
 代表者企業 株式会社 吉勝重建 工務部  
 TEL 0776-22-5256